

開講科目名 / Course	社会保障システム論	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	持田 恵理	
担当教員名 / Instructor	持田 恵理	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	本講義では、国民の生命・健康と生活を支える社会保障制度すなわち保健・医療・福祉サ・ピスを提供するための制度の概要を学ぶ。 まず社会保障全体の枠組みと意義を理解した上で、個人や集団の生活を支え健康を保持・増進するための保健・医療・福祉に関する法制度および行政上のシステムの概要を理解する。	
到達目標	1. 社会保障の意義を説明できる。 2. 社会保障制度の内容を説明できる。 3. 社会保障制度の課題を説明できる。	
DPとの対応	3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ	
授業計画	01. 社会保障制度の概要 02. 社会保障の動向 03. 医療保障 04. 介護保障 05. 所得保障 06. 公的扶助 07. 社会福祉 08. 社会保障制度と看護	
その他の授業の工夫	法や制度の記憶に終わらず、その意義や課題を理解できるよう、可能な限り最新のデータを提供して、実社会の動きや事象と関連付けられるように解説する。	
時間外学修	事前学修：前日までに講義を配布するので、講義までに一読してくること。（8h） 事後学修：毎回講義内容が多岐にわたるため、講義回ごとに復習し、「国民衛生の動向」などに関連事項を理解すること。（16h）	
評価方法と評価割合	筆記試験（80％） 各回講義の後の小テスト（20％）	
テキスト	講義ごとにハンドアウトを配布する。 系統看護学講座 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度[3,4]（医学書院）	
参考書	国民衛生の動向（厚生労働統計協会） 国民の福祉の動向（厚生労働統計協会） 保険と年金の動向（厚生労働統計協会）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	持田恵理：行政の保健師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	行政の事務官
実務経験をいかした教育内容	保健福祉行政に関わった経験から、社会保障制度の仕組みを教授するとともに、各政策と看護職の関わりについて学べる内容とする。 社会保障制度のなかでも、年金については理解が困難なことが多いことから、国の年金関係の業務に関わった経験をもつ者を非常勤講師として、年金と社会保障制度について基礎的な内容を理解できる内容を教授するとともに、看護職の関係について学べる内容とする。	